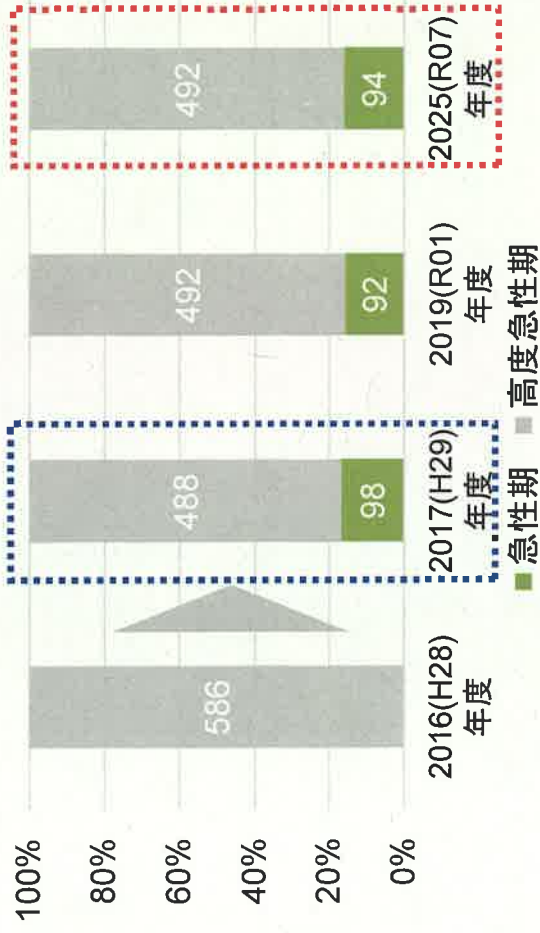


愛媛大学医学部附属病院「公的医療機関等2025プラン」 における病床機能区分別病床数変更について

※一般病床602床であるが、治験病床16床を除いた586床を病床機能別に計上している。



※各年度の病床機能報告は当該年度7月1日現在となるが、2019(令和元)年度の急性期病床は一時的に2床減となり翌月(8月)には94床となる。

	2016 (H28) 年度	2017 (H29) 年度	2019 (R01) 年度	2025 (R07) 年度
高度急性期	586	488	492	492
急性期	0	98	92	94
回復期	0	0	0	0
慢性期	0	0	0	0
(合計)	586	586	584	586

今回の病床配置見直しによる変更

- 病床配置見直しにより、高度急性期4床増と急性期4床減となったことから2025年度の病床機能別病床数を変更します。
- 2025プラン作成時(2017年度)の方針等を踏まえ、急性期機能病床を98床から94床をとします。

今回の病床配置見直し経緯

- 高度急性期機能に該当する病床不足の解消(一般病棟4床室1増室)4床増と入院患者の個室要望ニーズに伴う(急性期機能に該当する一般病棟4床室2室の個室化対応)4床減への病床配置見直しによるものです。
- 病床機能区分別病床
 - ・高度急性期機能病床15病棟492床(488床から4床増)
 - ・急性期機能病床 2病棟 94床(98床から4床減)
 (※病床工事の関係からR01.07.01時点では92床となった。)

2025プラン作成時

	2017 (H29)	2025 (R07)
高度急性期	488	488
急性期	98	98
合計	586	586

2025プラン変更

	2025 (R07)
高度急性期	492
急性期	94
合計	586

年度別病床機能報告における病棟別医療機能区分

(参考)

病棟	算定入院料区分	病床変更		R01年度報告		H30年度報告		H29年度報告		H28年度報告	
		R1.8.1	R1.7.1	07.01現在		.07.01現在		07.01現在		07.01現在	
		病床数	病床数	高度 急性期	急性期	高度 急性期	急性期	高度 急性期	急性期	高度 急性期	急性期
1-4	特定機能病院精神 13対1	40	40	/	/	/	/	/	/	/	/
1-5	特定機能病院一般 7対1	46	46	46		46		46		46	
1-6	小児入院医療管理料2	23	23	23		23		23		23	
1-7	特定機能病院一般 7対1	47	47	47		47		47		47	
1-8	特定機能病院一般 7対1	53	53	53		53		53		53	
1-9	特定機能病院一般 7対1	50	48		48		54		54	54	
1-10	特定機能病院一般 7対1	54	54	54		54		54		54	
2-2	特定機能病院一般 7対1	44	44		44		44		44	44	
2-4	特定機能病院一般 7対1	36	36	36		36		36		36	
2-5	特定機能病院一般 7対1	45	45	45		41		41		41	
2-6	特定機能病院一般 7対1	40	40	40		40		40		40	
2-7	特定機能病院一般 7対1	40	40	40		40		40		40	
2-8	特定機能病院一般 7対1	44	44	44		44		44		44	
3-2	小児入院医療管理料2	16	16	16		16		16		16	
GCU	新生児治療回復室入院医療管理料	11	11	11		11		11		11	
NICU	新生児特定集中治療室管理料1	12	12	12		12		12		12	
ICU	特定集中治療室管理料4	22	22	22		22		22		22	
SCU	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	3	3	3		3		3		3	
感染	一類感染症患者入院医療管理料	2	2	/	/	/	/	/	/	/	/
計		628	626	492	92	488	98	488	98	586	0
病床機能報告病床(計)		586	584	584		586		586		586	

注1) 病床機能報告は、精神病棟及び感染症病棟を除く一般病棟の病床が対象となる。

注2) ICU病棟については、ICU及びICU2の22床をもって病棟としている。

注3) R1.7.1時点における1-7病棟については、改修工事による一時的に2床減となったものである。